

2022年11月1日  
日本銀行北九州支店

---

## 北九州・京築地区の金融経済概況

(2022年11月1日)

---

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



## 1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。輸出は、増加している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、感染症や物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、緩やかに回復している。雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直している。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	回復しつつある。	緩やかに回復している。
需要項目	公共投資	弱めの動きとなっている。
	輸出	増加している。
	設備投資	高めの水準にある。
	個人消費	感染症や物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。
	住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。
生産	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。
雇用	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	労働需給は、持ち直している。

## 2. 需要項目別動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

輸出は、増加している。

設備投資は、高めの水準にある。

2022年度の設備投資計画は2021年度を下回るものの、業績回復に伴う前向きな設備投資の拡がりから、例年と比べて高めの水準となっている。

個人消費は、感染症や物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

高額品の販売は、緩やかに増加している。飲食や旅行・観光関連のサービス消費は、回復している。一方、乗用車販売では、自動車減産の影響が残っている。

この間、衣料品や食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて一部の消費者に節約志向の強まりがみられるが、全体としては底堅く推移している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

### 3. 生産

生産は、緩やかに回復している。

#### ▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	弱含んでいる。
	電炉	高水準で推移している。
化学		高水準で推移している。
セメント		横ばい圏内で推移している。
住設機器		新製品投入効果や値上げに伴う駆け込み需要から、大幅に増加している。
電気機械		供給制約の影響が和らぐもとで、緩やかに増加している。
電子部品		高水準で推移している。
自動車		回復している。

### 4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直している。

### 5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、3%台前半となっている。

### 6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

### 7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上